

2019年度 事業報告書

2019年度の活動は新進交会館の落成を目指し順調に進められた。

特筆すべきは特別委員会、総務・財務委員会、事業委員会、会報・HP委員会の4委員会が一丸となり、新進交会館の落成に向けて意欲的、活発に活動した集大成の1年間であった。しかし、惜しむらくは新型コロナウイルス感染拡大防止により落成式及び内覧会を盛大に開催できず、進交会の新時代の華々しいスタートが不完全燃焼となったことである。

同期会の開催支援等については、進交会館が建替え工事中であることから企画、打合せ等の積極的な企画協力、支援の面で不十分の感が残った。そして『令和2年新年懇親会』が新進交会館の落成式と時期的に重複し、出席予定者の方々の負担及び進交会の業務煩雑化等を考慮し中止とした。また、例年10月に発行していた進交会報は新進交会館の落成特別記念号とすべく、発行を令和2年の4月に延期した。

進交会は毎年「還暦ないし定年退職者等の相対的若年層及び現役世代の“進交会＝同窓会”への関心をどうしたら高められるか」等の課題に直面している。新進交会館の落成を機に、Y校、市大がワンチームとなり、さらなる飛躍を成し遂げ、それらの課題に対し衆知を集めた取組みと知恵出しをして行きたい。

[I]2019年度重点目標の評価

1. 新進交会館の落成に向けて平成27年12月設置の特別委員会で侃々諤々の議論を行い、平成30年2月、工事を開始、平成30年4月、特別委員会プロジェクトチームを編成し、諸問題に遭遇し紆余曲折を経て新進交会館が令和2年3月4日に落成した。その間、解体作業では登記上の構造(RC造)と実際の構造(SRC造)の食い違いによる解体費用の増加、また、進交会専用のエレベーターの追加設置等で工事金額が22百万円増え最終的に53,620万円で完成した。

一方、平成27年10月から募集を開始したリニューアル募金、平成29年10月からの建替え募金は令和2年2月末で、1,360名、37,352,374円となり新進交会館建設事業の大黒柱となった。

2. 「持続可能な進交会組織と運営」について議論を深める

高齢化に伴う会員・会費の減少への対応として、平成22年度より導入した会費のコンビニ払いは年々着実に成果を上げている。しかし本年度は進交会報(第85号)の発行送付を例年の10月から令和2年4月に延期した為、年度内の会費請求ができず会費収入が低迷した。

令和2年度は「進交会館落成記念キャンペーン」を実施し終身会員の増員を目指し、会費の増収を図りたい。終身会員の毎年の定期的増員が進交会の根雪となることを信じて。

3. 進交会報とホームページの連携と活用

進交会報(第85号)は新進交会館の落成特別記念号として例年の10月から令和2年の4月に延期して発行することとした。また、ホームページについては最新情報を常に会員にお届けし、年1回の進交会報発行の補填をすることが重要な役目であるが、会員への迅速な情

報伝達手段としての内容の充実については必ずしも意を尽くせたとはいえず、今後も不断の努力が必要である。

4. Y校・横浜市立大学との更なる関係強化(母校支援等)

同窓会として最重要なテーマの一つであるが、進交会の財政基盤の確立なくしては絵に描いた餅である。「新・進交会館」の安定した収入と進交会費増収により、更に多くの母校支援が可能な環境を作って行きたい。

5. 同期会・ゼミ部活OB会の開催支援

平成22年よりY校卒業生の60歳還暦同期会の他、各年度の同期会、部活OB会の開催を支援している。2019年度もY校昭和43年卒業(台風15号と新型コロナウイルスにより中止)、昭和47年卒業の同期会開催支援により進交会のPRとイメージアップに大いに役立っている。

「横浜市大としては部活あるいはゼミのOB会等々を中心に開催を支援しており、令和元年度は健門会(宮澤ゼミOB会)山際ゼミOB会、金八会(昭35年卒同期会)、市大新聞縮刷版出版記念懇談会等々の開催を応援した。同期会の開催はハードルが高いが積極的に活動して頂ける有志の出現を期待したい。

又、数年前から新しい取り組みとして、フェイスブックに「横浜市立大学同窓会コミュニティ」を開設し、「横浜市立大学卒業生」に登録を呼びかけている。

今後地域ごとに、あるいは同期ごとのまとまりが出来てきたら、其々の地域会や同期会がフェイスブックの中にも出来て、「オフ会活動」をしてくれる事を期待したい。

[II]会員の状況(令和2年3月31日現在)

1. 本年度新会員

Y校	277名
市大(大学院卒を含む)	985名
合計	1,262名

2. 会員総数

区分	会員(物故者を除く)	住所不明者	住所登録者数
Y校	24,613	8,740	15,873
Y専	879	559	320
市大	36,167	16,283	19,884
合計	61,659	25,582	36,077

【市大生内訳】

区分	会員(物故者を除く)	住所不明者	住所登録者数
商学部	14,631	6,574	8,057
文理学部	9,341	4,537	4,804
国際文化学部	1,032	663	369

区 分	会員（物故者を除く）	住所不明者	住所登録者数
理学部	691	357	334
国際総合科学部	3,809	1,023	2,786
医学部(医専・医大)	2,707	1,159	1,548
看護(高等看護含む)	3,629	1,904	1,725
大学院 他	327	66	261
合 計	36,167	16,283	19,884

[Ⅲ] 進交会の定例事業

1. 社員総会

(1) 開催日時 令和元年5月25日（土）午前11時00分より

(2) 開催場所 ウイリング横浜 5階501会議室

(3) 出席者 51名（委任状45名）

(4) 議 題

① 第一号議案 平成30年度 事業報告(案)承認の件

② 第二号議案 平成30年度 決算報告書(案)承認の件

③ 第三号議案 新理事追加選任決議の件

第一号議案、第二号議案が承認され、第三号議案新理事追加選任決議がなされ、社員総会終了後に懇親会を開催。

2. 進交会報第85号の発行

進交会報は例年10月に発行しているが、今年度の第85号は新進交会館落成記念特別号として、令和2年3月4日の落成を待ち落成式及び新会館の概要等の記事を集め、令和2年3月末に発行を予定していたが、新型コロナ騒動による落成式の中止及び各種スケジュール多忙化等によりやむを得ず4月下旬に延期した。

3. 教養講座

平成30年4月から進交会館建替え工事の為、教養講座は休講としているが、新進交会館落成を機会に令和2年度から開催を目指したい。

4. 新年懇親会の開催

令和2年1月25日（土）に崎陽軒本店4Fで開催を予定していたが、新年会と新進交会館落成式の開催時期が近く、参加者への負担及び業務の煩雑化を考慮し、開催を中止とし令和3年に改めて開催することとした。

[Ⅳ] 理事会、各委員会及びその他の会合

1. 理事会

第一回理事会 令和元年6月24日(月) 17時00分より

第一号議案 公益目的支出計画実施報告書(案)承認の件

第二号議案 2019年度進交会報発行・会費募集方針(案)の件

- 第三号議案 職員夏季賞与支給の件
第四号議案 2019年度各委員会委員候補者追加承認の件
第五号議案 選挙管理委員会委員選任の件
- 第二回理事会 令和2年11月25日(月) 17時00分より
第一号議案 2019年度上半期決算(案)承認の件
第二号議案 役員人事承認の件
第三号議案 令和2年進交会新年懇親会開催承認の件
第四号議案 職員冬季賞与支給の件
- 第三回理事会 令和2年3月26日(木) 17時00分より
新型コロナウイルス感染拡大により書面での決議に変更
- 第四回理事会 令和2年4月24日(金) 17時00分より
新型コロナウイルス感染拡大により書面での決議に変更

2. 各委員会

冒頭に記載した通り、特別委員会はプロジェクトチームを中心に進交会館落成までの詳細な打ち合わせを施工業者の生和コーポレーションと行い、総務・財務委員会は落成式、落成記念品、終身会費落成記念キャンペーンの立案、募金者銘板の作成等を担当し、事業委員会は「新生みなと倶楽部」及び貸会議室の新たな運営を企画検討、会報・HP委員会は落成記念を特集記事とした進交会報第85号の制作発行により新進交会館の情宣と進交会費の増収支援の一役を担った。その結果、4委員会がそれぞれの役割を担い一丸となって新進交会館建設の一大事業を大成させることができた。

3. 部会

(1) Y校会

2019年度も昨年に引き続き『母校への積極的支援』『組織の拡大・活性化』をテーマに掲げ取り組んできた。

【母校への積極的支援】

- ① Y校国際交流事業への応援事業として、平成29年から実施している海外を目指すY校生に対する『Y校会海外奨学金制度』を今年度は台湾5名・ニューヨーク1名の研修参加者に合計20万円の奨学金を授与した。
- ② 『漫画で知るY校のはじまり』の小冊子を平成31年3月及び令和2年3月の入学手続き時に新1年生に配布した。

【組織の拡大・活性化】

- ① 同期会・部活OB会の開催支援と情宣、また歌舞伎鑑賞教室や寄席鑑賞、そして社会見学会、Y校会の集い等の親睦会を開催した。
- ② 昭和50年代以降卒業の次世代会員の増員と目標に掲げる「正会員1,000名体制確立」へ向けて役員、幹事一同が取り組んでいる。

【進交会館建替え募金への対応】

Y校同窓会のシンボルである進交会館の建替え募金の情宣と協力依頼を各年度の同期会及びY校会の集い開催時に行い、また、広報紙の「Y校会だより」を通じて行った。結果、Y校卒会員から782件・2,640万円の協力を頂き、進交会館の落成に大きく貢献をした。

【令和2年度に向けて】

新進交会館の落成を機に、次世代世代(昭和50年代卒)の時代到来を見据え、より魅力ある企画や積極的な活動により「組織の拡大と活性化」を推進する。母校支援では『Y校会海外奨学金制度』を基盤に更に有意義な支援を実行すべく、Y校と調整の上積極的に取り組んで行く所存である。

(2) 市大会

市大会は、数年前まで2年に1回の市大同窓会パーティーを開催してきた。従来は市内のホテルで開催されてきたが、平成27年度以降は横浜市立大学金沢八景キャンパスでの開催に変更し、卒業生が参加し易いように会場を見直した。又平成29年度以降は毎年開催に変更し、尚且つ令和元年度は市大ホームカミングデーと同日開催として100名を超える方々の参加を得た。

市大会は「横浜市立大学同窓会」と言う名称で令和元年度から正式に活動を開始しており、新たな規約に基づいて横浜市立大学創立100周年に向けて市大会活動を同窓会の開催だけでなく、母校支援、会員との交流、地域貢献等々に活動の幅を広げていく。

Y専・横浜市立大学は多くの人材を社会に輩出してきたが、今後も引き続き社会で卒業生が活躍されるように、あらゆる機会を通じて卒業生同士の活躍を“見える化”していく。また市大の著名教授の研究業績展や回顧展などを大学と協力して開く等の活動は今後も継続していきたい。

尚、数年前からフェイスブックに「横浜市立大学同窓会コミュニティ」を開設しているが、登録申請してくれた中には、住所不明だった方が多数おられた。今まで、この方々は卒業生から何らかのアクセスをして頂かないと進交会からは連絡の取りようがなかった。今後は登録者が住所不明者だった場合、連絡先を登録させて頂き、進交会名簿の充実につなげる。

[V] みなと倶楽部・文化教室

- (1) みなと倶楽部 ……建替え工事期間中は休業していたが、新進交会館の落成を機に『新みなと倶楽部』の新たな運営案を検討、提案し開店する予定であった。しかし誠に残念ながら新型コロナウイルス感染防止により休館せざるを得ない状況となっている。
- (2) 文化教室 ……………進交会業務の簡素化、効率化、コストダウン等により見直しを行い、文化教室事業を廃止し、貸会議室経営で対応するこ

とを検討し提案する予定である。

[VI] 母校関係

1. Y校・市大行事への参加

- (1) Y校 ① 入学式 平成31年4月8日 出席者:古屋理事長、田宮Y校会会長
② 卒業式 令和2年3月1日 新型コロナ感染拡大防止により理事長、Y校会会長の出席は見合わせ
- (2) 市大 ① 入学式 平成31年4月5日 出席者:古屋理事長、山本理事他
② 卒業式 令和2年3月25日 新型コロナ感染拡大防止により中止
③ 「第68回医学のために献体された方々への感謝の集い」
令和元年12月2日 出席者:古屋理事長、佐藤事務局員

2. 表彰・支援

(1) 表 彰

- ・ 市大 「進交会賞」 14名 (国際総合科学部12名、医学部2名)
- ・ Y校 「奨学金」 7名 (クラスの成績優秀者)
「美澤皆勤賞」 40名 (3年間無遅刻・無欠席の生徒に授与)

(2) 広告掲載

- ・ 市大:入学式・卒業式、運動部連合会、浜大祭、混成合唱、管弦楽団
- ・ Y校:Y校文化祭、Y校吹奏楽部OBバンド

(3) 母校への支援

- ・ 市大:寄付金/74万円、
市大医学部「献体された方々への感謝の集い」への助成
- ・ Y校:寄付金/21万円

[VII] 支部活動関係

北海道支部例会	令和元年11月30日
宮城支部例会	令和元年11月16日
千葉県支部総会	令和元年11月 9日
静岡県支部総会	平成31年4月13日
北陸支部総会	令和元年11月 2日
名古屋支部懇親会	令和元年10月12日 台風の為中止
近畿進交会の「集い」	令和元年11月 9日

以 上